

【シラバスⅡ】令和8年度 評価規準

教科名 国語		科目名 古典探究		
時期・単元	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
前期	書くこと	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、語感を磨いている。((2)イ)	・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりし、工夫して文章を書いている。((1)オ)	・古典作品に親しみ、語句の意味や用法をよく理解し、言葉を効果的に使おうとしている。
	読むこと	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。((2)イ)	・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。((1)イ) ・様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。((1)キ)	・文章の読解を通して、自分の思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。
後期	書くこと	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、語感を磨いている。((2)イ)	・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりし、工夫して文章を書いている。((1)オ)	・古典作品に親しみ、語句の意味や用法をよく理解し、言葉を効果的に使おうとしている。
	読むこと	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。((2)イ)	・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。((1)イ) ・様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。((1)キ)	・文章の読解を通して、自分の思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。
主な評価方法		定期考査	定期考査	授業態度 提出物 定期考査
その他				